

## 女子戦評

大会名 第71回全日本バレーボール高等学校選手権大会 青森県代表決定戦

日 時 平成30年11月10日～11日

会 場 カクヒログループスタジアム

女子決勝（11月11日）

青森西高等学校 3  $\left\{ \begin{array}{l} 25-20 \\ 19-25 \\ 25-22 \\ 25-20 \end{array} \right\}$  1 三沢商業高等学校

ファーストレフリース 工藤 治

セカンドレフリース 岡村 尚文

2年連続15回目の選手権出場を目指す青森西高等学校（以下青西）と14年ぶり3回目の出場を目指す三沢商業高等学校（以下三商）の対戦。

第1セット、青西は相馬と三上のスパイクで流れを掴む。三商は小野を中心にゲームが展開されるが、青西毛藤のサービスエースが出たところで三商1回目のタイムアウト。三商は及川の攻撃で反撃するも、青西は相馬の時間差攻撃などで突き放し、最後は相馬がバックアタックを決め青西が第1セットを先取。

第2セット、三商は鳥山のスパイクで流れをつかむ。4対8で青西は1回目のタイムアウト。青西は堀川のみドルで反撃し中盤で同点とする。三商の攻撃が青西のミス誘い15対18で青西が2回目のタイムアウト。その後三商は効果的なブロックと、鳥山、及川のスパイクで第2セットを取る。

第3セット、青西は相馬のスパイクとフェイント攻撃で流れをつかみ10対5で三商のタイムアウト。中盤は両チームとも粘り強いレシーブを見せるが、青西が終盤までリードを保つ。三商も及川のスパイクで食らいつき、22対20で青西1回目のタイムアウト。青西は堀川と三上で加点し第3セットを取る。

第4セット、立ち上がりは青西のミスが目立ち三商がリードするも、青西は渡邊のみドルで反撃し逆転。三商は及川、青西は相馬が得点を重ね、青西が15対12として三商2回目のタイムアウト。その後青西はセッター森川が攻撃的を絞らせないとスワークで加点する。三商も山田、及川が意地を見せるも、最後は青西が逃げ切り第4セットを取り、青西が2年連続15回目の選手権大会出場を決めた。

戦評者 小山内 忍